

第2回舞踊学フォーラム報告

「追悼企画：舞踏家大野一雄 — 記憶のアーカイヴ」

大野一雄（1906-2010）は、我が国ばかりか、世界各地で愛される舞踏家である。第2回舞踊学フォーラム「追悼企画：舞踏家大野一雄——記憶のアーカイヴ」は、平成23年（2011年）6月26日早稲田大学小野記念講堂でおこなわれた。全体は、(Ⅰ) 大野の活動と時代をふりかえる講演、(Ⅱ) ご子息大野慶人氏の実演、(Ⅲ) 公演パンフレットや映像などの展示、からなる。

大野の自宅スタジオには大野一雄舞踏研究所があり、大野一雄・慶人両氏に関する資料が保存・公開されている。同研究所溝端俊夫氏には秘蔵映像を交えて、その活動をご紹介いただいた（「大野一雄舞踏研究所のアーカイヴについて」）。舞台における大野については、同時代を生きた演出家及川広信氏にお話しいただいた（「大野一雄の舞踏について」）。大野は、横浜市にある捜真女学校体育教師という一面も持っていたが、それに触れてお話しいただいたのが、高橋和子舞踊学会会員による「教育者としての大野一雄」である。海外における受容については武藤大祐会員「1980年の

大野一雄——海外での舞台評を読む」のほか、パトリック・ドゥ・ヴォス氏（東京大学）によるコメントをいただいた。最後は、大野慶人氏によるパフォーマンス、氏と及川氏、國吉和子理事による対談を経てフォーラムは幕を閉じた。

聴講者は、会員48名、非会員52名、不明9名、計109名であった。（文責 貫 成人）



展示品リスト
展示台#1 モダンダンスと教員の時代の資料 1949年 大野一雄現代舞踊第一回公演プログラム 同終演後の記念撮影 江口隆哉氏等と 1953年 大野一雄舞踊団モダンダンス公演ポスター 同公演上演作品 「天の果実」 1950年代 野外で踊る写真 1952年頃 捜真女学校の体育の授業と集合写真 1959年 大野一雄モダン・ダンス「老人と海」プログラム（舞台監督土方巽の記載有り） 同公演舞台写真
展示台#2 ラ・アルヘンチーナ頌資料 ラ・アルヘンチーナ頌初演チラシ 同公演案内状 同公演チケット ラ・アルヘンチーナ・アントニア・メルセのアルバム（1980年当時パリに住んでいたアントニア・メルセの姪カルロッタ・メルセより贈られた） カルロッタ・メルセとの記念撮影写真 ナンシーの運河で映画監督ヴェルナー・シュローター氏との写真 ナンシー国際演劇祭プログラム ル・モンド紙批評とその翻訳 ナンシーから家族に当てた大野一雄の自筆手紙
ポスターコレクション 1977年 ラ・アルヘンチーナ頌初演 写真細江英公 デザイン田中一光 1980年 パリ公演ポスター 1981年 わたしのお母さん初演 写真細江英公 題字大野一雄 1983年 ミラノ公演ポスター 1990年代 テアトルフォンテ 大野一雄全作品上演計画ポスター 2007年 百歳の年記念ポスター 写真ウイリアム・クライン（1960年撮影）、他
映像上映 DVD「大野一雄ロングインタビュー」より 1993年 自室で語る大野一雄
大野一雄舞踏研究所編による書籍・DVD等 「稽古の言葉」（フィルムアート社1997）から「Dancing Kazuo Ohno」（Canta Co.Ltd 2011）まで